

# 情報掲示板

information

お得な招待や日々の暮らしに役立つ情報など

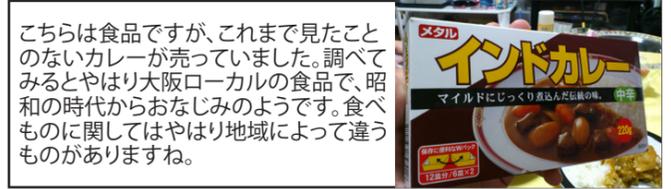
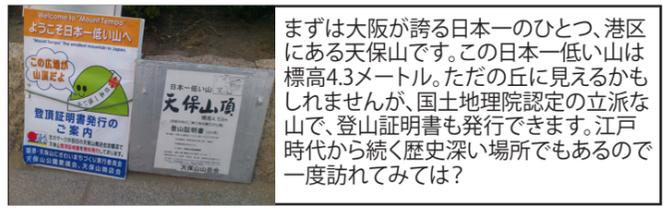
## 震災で大阪に引越してきた皆さん！ 日本の美しい心を感じる音楽を聴き和(なご)みましょう

ソプラノ歌手・田中留美子、ピアニスト・山川亜紀、金管合奏・セヤナ・プラスアンサンプルが、日本の美しい心を表現した名曲を実演します。プロの歌や曲を味わい、映像と音楽をバックにしたナレーションを楽しみ、ポピュラーソングを皆で合唱しましょう。

- 日時：** 9月16日(日) 14:00~16:00
- 場所：** 大阪市北区民センター2階 大ホール  
大阪市北区扇町2-1-27  
地下鉄堺筋線「扇町」駅すぐ
- 参加費：** 無料
- 募集対象：** 東日本大震災により大阪に避難されている方(子どもの場合は、小学校高学年以上)
- 申込先：** 大阪市ボランティア情報センター 修田(しゅうでん)  
☎06-6765-4041
- 申込締切：** 9月6日  
定員(50名)になり次第締切りますので、早めにお申し込みください。入場整理券をお渡します。
- 主催：** NPO法人 大楽小楽(ダイカクショウカク)

## 大阪の“きになる”ところを集めよう！

先月号で「大阪の“きになる”ところを集めよう！」ということで、大阪の“きになる”風景やモノの写真を募集しました。まだご応募はありませんが、今回は私の“きになる”モノをご紹介します。大阪の人にとっては「あたりまえや〜ん」と思えるかもしれませんが、他にはない魅力が詰まっています！



“きになる”ものがあったら携帯電話やパソコンからメールで送ってください  
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

### 編集後記

オリンピックは白熱しましたね。今回の日本選手団は史上最多の38個のメダルを獲得しました。あのような大舞台で結果を残すには、4年間の全てを賭ける覚悟と想像できないほどの努力が必要でしょう。困難な目標を成し遂げた選手たちに拍手！ 修田翔

## ご質問、ご連絡等は...



IMONIKAIバックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

## 東日本大震災復興支援 第1回 七転び八起きプロジェクト

この度、大阪府内全域を対象に、避難して来ている方々の親睦会を開催いたします。縁あってこちらに在住している間、大阪の良さ思い出を作った、本音を話せる友達や仲間と出会うきっかけの場を作りたいという思いで立ち上がりました。プロジェクトの名称は福島県から避難して来ている方からご提案頂きました。

- 日時：** 9月8日(土) 14:00~16:00(13:45~受付)
- 場所：** 大阪市立こども文化センター 2階展示室  
大阪市西区北堀江4-2-9  
地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」駅すぐ
- 参加費・申込：** 不要です。当日会場にお越しください。
- 対象：** 東日本大震災で被災され、大阪へお越しの方々
- 内容：**
  - ・ミニ講演 『震災とココロのお話 自分と大切な人の心のケア』(講師:臨床心理士 梨谷竜也)
  - ・参加者の親睦会 (数人ずつのグループで、お飲み物を飲みながらいろいろお話ができればと思っています)
  - ・お子さんのお預かり (保育士や学生ボランティアがお預かりします)

主催：石巻復興支援プロジェクトあおぞらロングビーチクラブ大阪支部  
問合せ:080-6920-8123

## 第6回 法テラス寄席

法的トラブル解決のための総合案内所、法テラスが寄席を開催いたします。

- 日時：** 10月16日(火) 18:30開演(18:00開場)
- 場所：** 大阪弁護士会館2階ホール  
地下鉄堺筋線「北浜」駅  
京阪「淀屋橋」駅・「なにわ橋」駅
- 落語：** 『佐野山』 桂南光  
『へっつい盗人』 桂南天  
『手水廻し』 桂そうば
- トーク：** 『へっつい盗人』について、今の法律から見るとどうなるのか南光さん、南天さんを聞き手に弁護士が解説します。
- 申込：** 観覧ご希望の方は、同封のチラシをご参照のうえ、往復はがきまたはお電話にてお申し込みください。  
☎0503383-5426
- 申込締切：** 9月21日(土)  
募集開始は9月10日となります。

共催： 法テラス大阪・大阪弁護士会

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618  
《利用時間》  
月~金曜 9:30~20:30 土曜 9:30~17:00  
《休館日》  
日曜・祝日・国民の休日及び  
年末年始(12月29日~1月3日)  
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

## 東北と大阪を繋ぐ情報紙

第15号：平成24年8月



発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア情報センター  
住所：〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
電話番号：06-6765-4041  
FAX:06-6765-5618  
協力 大阪弁護士会  
大阪市各区社会福祉協議会

## 9月のCafe IMONIKAIのご案内

**日時：** 9月26日(水)  
10:00~15:00  
※昼食は各自で用意ください

**場所：** 大阪市立社会福祉センター  
(天王寺区東高津町12-10)  
地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」11番出口

**申込：** お電話またはEメールにてお申込みください。  
Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数をご明記ください。  
☎:06-6765-4041(担当:修田)  
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

◎その他お楽しみ企画やお役立ち情報などご用意いたします。  
どうぞお気軽にお越しください。



## 北区・住之江区で交流会がありました

7月・8月に、北区と住之江区において避難者の方の交流会が開催されました。区ごとに行われている様々な取り組みを特集でお伝えいたします。



特集記事は内面をご覧ください！→

## あさがおの子どもたちがキャンプへ行きました

☆室戸岬青少年自然の家で3泊4日☆

8月19日(日)から8月22日(水)までの4日間、子ども会「あさがお」は、高知県室戸市にある「国立室戸青少年自然の家」で開催された学研サマーキャンプ2012に参加してきました。このキャンプは毎年学研の学習教室を利用している子どもたちを対象にしたプログラムで、日々の教室での勉強に加え、子どもたちに社会で生きていく「力」をつけてもらうために学研が企画しているものです。昨年に引き続き今年も、避難者の家庭を招待していただきました。参加した子どもたちは43人、そのうち5人があさがおの子どもたちで、8つの班に分かれて活動しました。



青く澄んだ、とってもきれいな海。海辺の生き物はいるかな？



みんなで作ったカレーはおいしい！

現地では四国八十八箇所のひとつである金剛頂寺を参拝し高知の歴史に触れたり、土佐湾でのミニクルージング体験で大阪では味わえない大自然を満喫しました。キャンプ場ではナイトハイクや星座観測、かまどでのカレー作り、高知名産かつおのたたき作り体験など盛り沢山。最後の夜にはキャンプファイヤーで夏の思い出を作りました。



みんなかつおに興味津々。これから現地の方に聞いてもらいます。



かつおのたたき作り体験。わらが一番よく焼けるそう。煙が目にも染みるけどがんばる！

キャンプでは初めて出会った友達とも、いろいろな活動に協力して取り組んで、すっかり仲良しになりました。真っ黒に日焼けした顔に白い歯を光らせて、眩しい笑顔を見せてくれました。



(レポート:坂本昭緒・内海まどか)

# 各地で交流会・サロンが開かれました

## 住之江区

7月26日(木)、御崎福祉会館老人憩の家にて、住之江区社協主催により住之江区内に県外避難として移住された方と地域の住民との、料理を通じた交流会が開かれました。当日は避難者の方が7人、うちお子さんが2人参加されました。住之江区にお住まいの避難者の中には中国出身の方がおられ、当日もお2人にご参加いただきました。今回はそのお2人に手作り肉まんの作り方を教えていただきました。

肉まんの生地を小さくちぎり、丸めて薄く伸ばし、具を入れて包んでいきます。講師役のお2人は素早く簡単そうに作っていきませんが、実際に真似して作ってみるととても難しい作業でした。それでも丁寧に教えていただいて段々ときれいに作れるようになっていき、参加された方は「今度家で作ってみよう」ととても楽しく取り組んでいました。

料理ができあがり、地域の役員さんやお子さんが通っている小学校の先生、区社協職員、NPO法人み・らいずのスタッフで机を囲んでいただきました。蒸したての肉まんは、ところどころ形がユニークなものもありましたが、ふかふかでジューシー。とってもおいしくできあがりしました。



メニューは肉まん、トマトと卵のスープ、使いきらなかった肉まんの具で作ったハンバーグ、塩昆布キャベツ、デザートは白玉とパイナップルという、ボリュームのある献立になりました。

食後は避難生活でのお悩み事などをお茶を飲みながらお話いただきました。こちらに来たことで地元の方との関係が気まづくなる、子どもが学校の友だちと馴染めていない、ご自身の体調についてなど、様々なお悩みをお聞きし、他機関を紹介するなど解決に向けてのお話し合いをさせていただきました。



住之江区社協では今後も定期的に避難者との交流会を開催していく予定で、次回開催は9月8日(土)になります。

小学生のお子さんもこの日は料理の先生。肉まんを包む手つきは慣れたものです。



## 北区



弁護士さんも一緒に輪に入っていました。

就労相談の様子。じっくりとお話できる個別相談スペースもご用意しました。



同室のキッズコーナーで元気いっぱい遊ぶ子どもたち。夕方になるまで元気は衰えず大学生のお兄さん・お姉さんにたくさん遊んでもらいました。

8月13日(月)から15日(水)にかけて、大阪市北区在宅サービスセンターいきいきネットにて、県外避難をされている方の交流サロン「ふるさとに想いを馳せる交流会」が開催されました。北区社会福祉協議会では、今年の6月より福島県から避難されている方が職員となられ、その方の強い想いもあり、大阪市ボランティア情報センターと北区社会福祉協議会が共催で開催しました。

お盆にあたるこの時期には帰省にまつわる話題が多いですが、県外避難をされている方にとっては帰省することが難しい方もおられます。今回はそんなお盆の期間に、自由な時間に気軽に来て楽しんでもらえる場所を提供するという試みを持ちました。

サロンの中では子どものお相手ボランティアとして関西大学の学生団体KUMC、就労関係の相談にNPO法人シンフォニー・生きがいごとサポートセンター阪神南、法律相談・原発事故に関する賠償相談に大阪弁護士会の方にお越しいただき、避難されている方と一緒にテーブルを囲んでいただきました。

13日には8人、14日には12人、15日には17人、3日間あわせて延べ37人の方にお越しいただきました。ふだん「避難ママのお茶べり会」に参加されている方にも、市内外を問わずお集まりいただき、母子避難の課題や悩みを中心にお話しされていました。この交流会でいただいたご意見を、これからのCafe IMONIKAIにも反映させていきたいと思っております。

このような交流の場が各地で開催されています。8月29日から毎月開催していくCafe IMONIKAI、「情報掲示板」でお知らせしている、9月8日の七転び八起きプロジェクトによるミニ講演と親睦会、また市民フォーラムおおさかでも交流サロンを企画しています。IMONIKAIでは今後様々なかたちの交流の場を避難者の皆様にお知らせしたいと思っておりますので、どんな企画にもどうぞお気軽にご参加ください。

## NHK ラジオに出演しました



左から修田、住田アナウンサー、斉藤アナウンサーです。

8月20日(月)、NHKラジオ第一放送の番組である「関西ラジオワイド」に出演してきました。この番組に出させていただくのは4回目となります。今回はある避難者の方の被災から避難に至るまでのお話や、避難者向けの様々なイベントや生活支援情報の提供という内容になりました。

昨年から継続的に東日本大震災による県外避難を取り上げてきたこの番組では、今後も避難者向けの支援情報の提供を続けて取り上げていきたいというお話でした。今後も各支援団体からのお役立ち情報がありますので、ぜひ聴いてみてください♪

『関西ラジオワイド』  
(月～金 16:05～18:00)  
NHKラジオ第1放送  
666kHz

## 方言の交差点

—東北弁と大阪弁が会える場所—

私の勤務校では学生の大半が大阪出身です。そこで、こんな質問をしてみました。「他地域出身の人が知っておくと便利だと思う大阪方言は何ですか?」。断トツで多かったのが「アカン」。「それはアカン」というように何かを禁止したり、「やらのアカン」というように必要性を主張したりする場合、大阪の人は本当によくアカンを使いますよね。意外に多かったのは、「サラ」。同様に「サラピン」もありました。「サラのペンを買う」とか「店の皿が汚れていたから、サラの皿にかえてもらう」というように使うそうです。共通語でも「マッサラ」という言い方をしますが、関西には冒頭に「マッ」が付かない言い方があるのです。

実は、「サラ地」という言い方の「サラ」も、関西方言のサラと同じです。毎月うかがっている宮城県の名取市にある海沿いの地区にも、サラ地が広がっています。江戸時代に書かれた大阪方言の辞書『浪花聞書』は、サラについてこんな説明をしています。「さら あたらしき也」。今もこの意味は変わりません。東北沿岸のサラ地が新しく生まれかわり、再生の場所となることを祈るばかりです。そのために大阪からできることを探す毎日です。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子  
E-mail:yukushib@res.otemon.ac.jp

## 「サラ」という方言



陸前高田市 希望の一本松